

地域産業支援委員会 2020年度第4回例会 議事録

2021. 3. 17 発行 地域産業支援委員会 委員長 末松正典

1 日時：2021年3月6日（土） 9:30～11:50

新型コロナウイルスの影響のため、委員会はWeb会議（Zoom活用）により実施した。

2 場所：委員各位の自宅や勤務先

3. 出欠（敬称略）：味澤、小出、末松、高嶋、田口、長野、西尾、久富、
【出席者、欠席者】 姫野、福田、松尾、松永、八百屋 山田、吉田
(11名) (4名)

4. 議事

1) 2020年度第4四半期の活動報告

- ◇チーム1：・地域産業支援委員会 2020年度活動報告（資料①-2）
 - ・地域産業支援委員会 2021年度活動計画案（資料①-3）
 - ・技術士だより九州：2021. 4. 15号投稿記事（資料①-4）

- ◇チーム3：・二月会の2020. 12. 14開催オンライン配信に参加（資料③-1）
 - ・一金会、知財交流会はコロナの影響で休止中。

- ◇チーム5：・機械部会の2021. 1. 15 Web中継に参加（資料⑤-1）
 - ・機械部会の2021. 2. 12 Web中継に参加（資料⑤-2）

2) 業務体験紹介 or 話題提供；・姫野委員からの発表と質疑応答（資料⑥-1）

5. 配布資料類【以下の7資料】

- 資料①-0：地域産業支援委員会 2020年度第2回 議事
- 資料①-1：地域産業支援委員会活動計画及び経過表（2020年度：2020. 4月～2021. 3月）
- 資料①-2：地域産業支援委員会活動報告（2020年度）
- 資料①-3：地域産業支援委員会 2021年度活動計画（案）
- 資料①-4：技術士だより九州：2021. 4. 15号投稿記事
- 資料③-1：二月会オンライン配信参加報告
- 資料⑤-1：機械部会オンライン配信参加報告（2021. 1. 15）
- 資料⑤-2：機械部会オンライン配信参加報告（2021. 2. 12）
- 資料⑥-1：姫野委員による「業務体験紹介と話題提供」

6. 議題に対する結果（決定事項など）：

6. 1 各グループの2020年度 第4四半期（12～2月）の活動報告：

1) チーム1「地域産業支援委員会活動全体の運営（会則、例会など）」の活動：

- ★資料①-2：地域産業支援委員会 2020年度活動報告
 - ・4項目（定例委員会開催、展示会出展対応、行政機関との情報交換・協力、支援・サービス活動）について合同役員会（2020. 11. 27開催）で報告した。
- ★資料①-3：地域産業支援委員会 2021年度活動計画（案）
 - ・上記4項目の活動を継続することや、委員長及び役員の交代について合同役員会で紹介した。
- ★資料①-4：技術士だより九州：2021. 4. 15号投稿記事
 - ・2020年度1年間の全体に亘る活動を簡易な報告にまとめた。

2) チーム2 「九州本部・技術相談運用の活性化」

★大分県支部経由で技術相談対応依頼が来ている（2021. 3. 5 付け）。対応を検討中。

3) チーム3 「外部機関との連携強化の継続」

★資料③-1：二月会オンライン配信（2021. 2. 14）参加報告

- ・3社が発表（①美容室専門店展開、②痴呆症患者への排泄ケアとトイレ問題解決システム提供、③中小企業向け B2B 顧客開拓用マーケティングツール提供）。各社とも知恵を絞って活動している。特に、①美容室専門店は、20分 3500円と短時間で高付加価値のビジネスであり有望と考えられる。

(※)「一金会」は毎月味澤委員宛てに「中止」の連絡が入っている。昨年途中までその都度「中止」メールを地産委員会委員全員に転送していたが、今は転送をしていない。「再開」の連絡が入ったら全員にその旨転送する。「知財交流会」はコロナ禍のもと、12月と2月の2回、「講師による講演のみ」をオンライン配信した。技術士会へは配信漏れしていた。2021年度の計画は未定だが、今後は案内を送信する。

5) チーム5 「地域産業支援能力向上のための研究と講習の継続実施」

★資料⑤-1；機械部会 Web 中継（2021. 1. 15）参加報告。

以下の講演を聴講。概要を紹介し意見交換した。

- ・講演者：桑江良明（倫理委員会・前委員長）
- ・演題：技術士が技術者倫理を考えることの意味
- ・概要：4項目、①技術士となることによる意識変化（自身の例）、②倫理教育検討WGの活動を通じて考えたこと、③技術者倫理“学び”から“実践”へ、④技術者倫理の「実践」、 「教育」に関する私の「現在地」（現状の見解）に関して講演された。特に印象的な内容は“日本工学教育協会の教育目標（2領域4カテゴリ）が重要で、領域2（情意的領域）は、大学の先生ではむつかしく、技術士がやるべきと気が付いた。”との点である。

★資料⑤-2；機械部会 Web 中継（2021. 2. 12）参加報告。以下の講演を聴講。概要を紹介し意見交換した。

- ・講演者：日本大学 飯島晃良
- ・演題：自動車用パワートレインの低炭素化技術
- ・概要：以下の4項目について講演した。①各種自動車用動力源比較、②エンジン高効率化の原理、③ハイブリッドシステム、④エンジンの高効率化技術。「EV化の流れの中で、ハイブリッドを含めエンジンタイプが生き残れるか見極める必要がある」との結論となった（講演内容は月刊PE2021年2月号p.4～7参照）。

6. 2 業務体験紹介 or 話題提供 [姫野]

★姫野委員から「データサイエンスについて」と題して、以下の紹介があり、質疑応答を行った。

- ・オープンデータの定義：著作権などの制御メカニズムの制限なしで、利用・再掲載できる形で入手できるデータ。政府や自治体など官公庁が公開しているデータなどが該当する。データサイエンス（DS）とは、このオープンデータを用いて新たな科学のおよび社会に知見を引き出すアプローチを言う。
- ・日本はデータサイエンティストの人材が他の主要国に比べて非常に少ないことから、政府（文科省）は育成事業を開始した（2018年予算：3億円）。これを受け、九州大学はADS（Advanced Data Science）育成室を開設した。

以上